

米田のFP通信



ちょっと気になる「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

3年ぶりのマスク無しの夏休み、いかがお過ごしですか？海外からの観光客も増え、随分とにぎやかになってきましたね。

世界旅行ツーリズム協議会の発表によると旅行・観光部門の日本のGDPへの寄与は、約37兆円とコロナ前の2019年の約40兆円とほぼ並ぶ水準まで回復したそうです。

移動や人との接触が不自由だった分「リベンジ旅行」につながっているようです。

この流れが景気、所得増、につながっていくとよいですね。



今月号のちょっと気になるお金のコラム

私立自宅外通学の学生が使えるお金は1日わずか710円！！アルバイトや奨学金を上手に利用することも大切ですがやはり時間をかけた準備がポイントではないでしょうか？



1999年からFP業務を行っています。現在はIFAとして最適な金融商品の選定やアドバイス、加入者の方のライフプラン相談、事業承継や相続、保険相談を中心に活動しています。ドクター、企業の経営者から個人まで年間で200人以上の方の相談をさせていただいています。

株式会社リスマネジメント・ラボラトリー 大阪支店
〒543-0018大阪市天王寺区空清町8-33 大阪府医師協同組合東館3階
電話06-6766-1511 携帯090-1152-3889 メールyoneda760@rml.co.jp

日本の高校生は出世よりのんびり



国立青少年教育振興機構は6月に「高校生の進路と職業意識に関する調査報告書-日本・米国・中国・韓国の比較」を公表しました。

進路に関する意識、キャリアに関する活動・学習、職業に関する意識、自分自身や将来に関する意識、などの調査項目があります。

下表は仕事感について比較各国と比べ特徴的な項目をピックアップしたものです。

	日本	米国	中国	韓国
暮らしていける収入があればのんびりと暮らしていきたい	49.4%	42.3%	29.4%	35.9%
やりたいことにいくら困難があっても挑戦してみたい	22.5%	46.3%	38.2%	28.4%
できるだけ高い地位に就きたい	13.1%	30.5%	31.7%	27.6%
自分の会社や店を作りたい	8.5%	25.6%	23.2%	26.6%

「暮らしていける収入があればのんびりと暮らしていきたい」については2012年の32.8%から増加しています。

出世をしても責任や仕事量が増える一方報酬がそれに見合っていない、と考える人が増えているといわれています。給料が増えないなか税金や社会保険料負担が増えていることも影響しているのかもしれない。

労働観が変わることが悪いわけではありませんが仕事にも夢を持てる社会になることを期待したいですね。

ちょっと気になるお金のコラム

大学受験は夏休みが重要、と言われてますね。受験を控えているお子さんは目標に向けて頑張っていることと思います。

一方親はそろそろお金のことも考えておく必要がありますね。

今月は大学進学にかかわるお金についてみましょう。学校への納付金は各校のHPなどで公表されているのでここでは仕送りや住まいなどについて「私立大学新入生の家計負担調査」（東京私大教連）の調査結果を紹介します。

間近に進学を控えているお子さまがいるご家庭はもちろん、小さなお子さまがいるご家庭も準備の目安にしてください。

私立自宅外通学の場合、入学の年（翌年3月まで）にかかる費用は408万円

下表は受験から翌年3月までにかかる費用です。

	自宅外通学	自宅通学
受験費用	265,300	255,200
敷金・礼金	246,700	
生活用品	319,000	
家賃	807,600	
仕送り	1,091,200	
	2,729,800	255,200

家賃：67,300円×12か月

仕送り：4月・5月：102,600円

6月～翌年3月：88,600円

4月、5月は入学直後で出費がかさむので多めの仕送りになっています。

ここに初年度納付金（国立：817,800円、私立平均：1,357,080円）を加えた金額が入学の年にかかる費用となります。私立自宅外だと約408万円になります。

1日に使えるお金、わずか710円

仕送りから家賃を除くと残りは21,300円、1日当たり710円になります。

月の仕送り額が最高だったのは1994年で今より4割ほど多い124,900円でした。20年前と比べて仕送り額が減っているのは日本人全体の給与が伸び悩んでいることも原因かもしれませんね。

	1994年	2022年
仕送り／月	124,900	88,600
家賃／月	57,200	67,300
初年度納付金（私立）*	989,739	1,357,080
初年度納付金（国立）*	693,600	817,800

（* 文部科学省 国公私立大学の授業料等の推移より）

昨年以降いろいろなものの値段が上がっています。親にとっても学生にとってもより厳しくなっているのではないのでしょうか？

教育費は必要な金額と必要になる時期が概ねわかっています。小さいお子さまがいるご家庭では時間をかけて少しずつでも準備しておくことが大切です。

